

2022年度重点目標と達成計画

大阪医療福祉専門学校

2022年度重点目標	取組内容・達成計画
総合型リハビリテーション学校としての基盤を構築する	理学療法士学科昼間部・作業療法士学科昼間部の4年制への修業年限の変更。また、両学科夜間部コース活動の運営。視能訓練士学科3年制のこどもe y eコース専攻科を設置。
ICTを活用した学習への転換	ICTを活用し、いつでもどこでも学習できる環境を構築する。主に動画での予習を行い、反転授業ができる環境やTeams・Moodleを活用した自学自習できる環境を作る。
中途退学者4%以内、入学→国試合格率90%以上	中途退学者に関しては1年次の退学者を減少させることに注力する。特に4～6月で生活習慣を確立し、7月以降学習習慣の定着を目指す。また、入学してストレートに国試合格率に対し、学校・学科の評価基軸にする。
キャリアビジョンを明確にし就職率100%	就職100%を当然の事と捉え、学生一人ひとりが自分の5年先を明確にし、就職活動が行えるようにキャリア教育を行う。入学年次には卒業生を中心とした接触の機会を設け、進級学年時には業界講演を行い、自らのキャリアを考える機会を設ける。
卒業学年の国家試験受験率100%	学内での進級・卒業基準をクリアすることで100%国家試験合格できるような指導体制を構築する。進級学年での前後期の終わりに国家試験に対する学びのチェックとして、国家試験模試を実施し得意・不得意分野を明確にする。
目的・目標が明確な入学生330名	就業学年内の学びを明確にし、大阪医療福祉で学びたいという入学生330名入学を目標にする。オープンキャンパス・入試・プレスクール・初年次教育と一貫した指導を継続する。
学費支払い困難で学業継続できない学生0名	就学支援制度や奨学金（病院・日本学生支援機構）を活用するだけでなく、病院等でのアルバイト先を斡旋し就学困難な学生の支援を行う。
FD/SDによる教職員の資質の向上	学園・学内での研修だけでなく、学外での活動や研修会への参加を推進し、教員・事務職員が共同して教育の質の向上を目指す。また、自らの専門領域だけでなく第二領域を作る事を推進する。
働きやすい環境の構築	学内における業務の棚卸を行い、役職者が積極的に無駄の削減する。また、ICTを活用し業務効率を上げる活動を推進する。安全衛生委員会と連動し、学内環境の整備を行う。
防災・防犯の意識向上	年一回の防災訓練だけでなく、防犯訓練も行い、学校が安全・安心な場所になるように取組む。また、コロナ対策を行い、学内でのクラスター0を目指す。